

2017年12月21日

会社名 株式会社 WOWOW

代表者名 代表取締役社長 田中 晃

コード番号 4839 東証第一部

プレスリリース

ARスポーツ観戦。ジャパンラグビー トップリーグでARライブ映像視聴の実証実験を実施



～来る5G時代に向けた新しいスポーツ観戦スタイルを提案～

株式会社WOWOW（本社：東京都港区、代表取締役社長 田中 晃、以下「WOWOW」）は、株式会社TBSテレビ（本社：東京都港区、代表取締役社長 武田 信二、以下「TBS」）、北海道日興通信株式会社（本社：北海道札幌市、代表取締役社長 鈴木 範夫、以下「NIXUS」）と共同開発した配信技術「Live Multi Viewing」を活用し、株式会社NTTドコモ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 吉澤 和弘、以下「ドコモ」）、富士通株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 田中 達也、以下「富士通」）と共同で、12月24日（日）に東京都港区・秩父宮ラグビー場で開催される「ジャパンラグビー トップリーグ」のNECグリーンロケッツ vs NTTドコモレッドハリケーンズ戦において、スポーツ観戦の楽しみ方を広げる、ドコモが提供する「AR*ライブ映像視聴システム」の実証実験を実施いたします。

本システムにより来場者は、スマートグラス**を装着することで、プレーの生中継映像や、チーム・選手プロフィール、解説情報等を見ながら試合を観戦することができます。スマートグラス上に表示されるコンテンツは、リモコンなどの操作端末を必要とせず、手で直感的に操作することが可能です。また、会場ではスマートフォン向けのコンテンツ配信も併せて実施いたします。

本システムは、目の前に表示されたCGオブジェクト（今回は、試合映像やプロフィール情報等）を実際に物に触れるような感覚で操作できるドコモの空間インターフェース技術と、TBS、WOWOW、NIXUSが共同開発した低遅延・高レスポンスで複数の映像を切り替えられる配信技術「Live Multi Viewing」を連携することで実現しました。また、コンテンツを配信するネットワークの遅延低減や負荷分散を行なうために、ドコモの「5G通信」や、5G時代の要素技術である富士通の「Mobile Edge Computing」が活用されています。

来る5G時代に向けてTBS、WOWOW、NIXUSは、配信技術「Live Multi Viewing」に高画質・高音質、大規模同時配信といった機能を追加し、さらに利便性を向上してまいります。また、今後開催される大規模スポーツイベントを見据えて、スタジアムでの新しい観戦スタイルを提案してまいります。

*Augmented Reality（オーグメンティッド・リアリティ）。拡張現実。人が知覚する現実をコンピュータにより拡張する技術

**眼鏡型のウェアラブルデバイス。実際に見ている光景に情報を重ねて表示することが可能

「ARライブ映像視聴システム」実証実験 実施概要

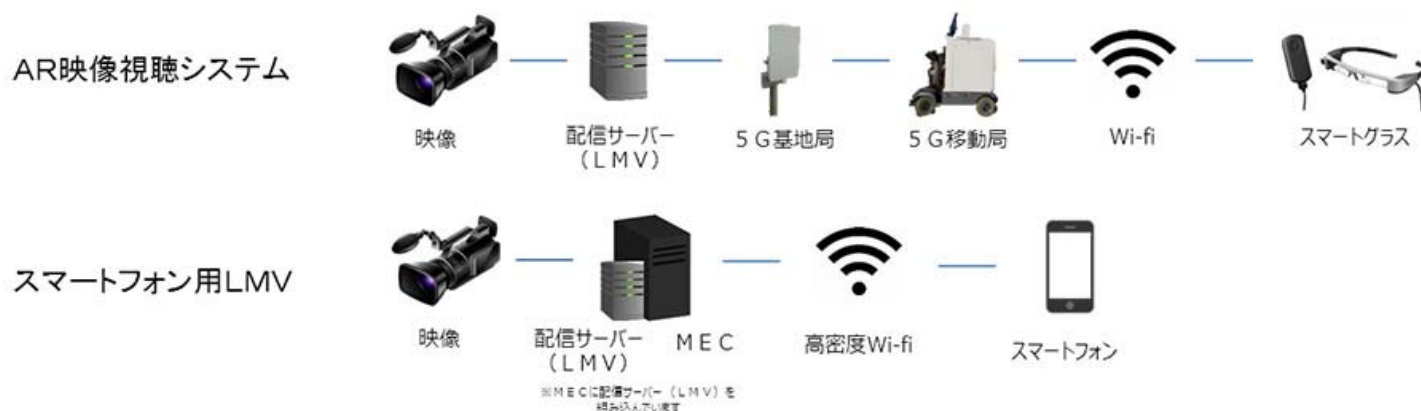
実施日時：2017年12月24日（日）午前11：30試合開始

実施場所：秩父宮ラグビー場

※秩父宮ラグビー場に入場いただくには、別途「ジャパンラグビートップリーグ」観戦チケットが必要です。

※来場者は、会場内のAR体験コーナーにて、実証実験の体験が可能です。

システム構成概要



報道関連のお問い合わせ

経営戦略局広報部 TEL:03-4330-8080 E-mail:corp.support@wowow.co.jp

IR関連のお問い合わせ

IR 経理局 IR 経理部 TEL:03-4330-8089